





# 洪水対応演習



関係機関に迅速かつ確に情報伝達ができるように伝達方法を確認しました。

5月12日に本格的な出水期を前に大規模な出水・堤防決壊などの重大災害を想定した「洪水対応演習」を実施しました。この演習は、洪水時の防災体制を万全にするため毎年行っているものです。洪水時の河川の水位、流量などの出水状況を取りまとめ、TV会議を通して報告を行いました。

## ～SMART SABOを活用し演習～

「SMART SABO」とはICT(情報通信技術)を活用した砂防調査・管理効率化ツールです。タブレット等のモバイル端末を使用し、目的地への誘導・移動追跡・調査の記録及び報告書作成などリアルタイムでの情報共有化を行うことができます。



砂防の演習の様子 →

# 堤防モニタリング



貫入棒で堤防が弱体化していないか、土の軟らかさを確認しています。

4月28日・5月15日・24日に堤防の点検を実施しました。堤防は芝の裸地化や動物によって掘られた穴による弱体化、出水時の被災で損傷してしまう場合があります。本来の機能が維持されているか、実際に管内全ての堤防を歩いて細かな部分まで点検を行っております。

芝と一緒に自生しているイタドリという植物は堤防を降水や洪水から守る役割を持つ「芝」の生長を阻害し、消滅させてしまう、厄介な植物です！

堤防の除草は、このような異常を発見しやすくするために大切な作業になります



# 重要水防箇所合同巡視

→ 現地水防箇所の説明中



5月29日、最上南部流域治水出張所管内の重要水防箇所合同巡視を行いました。国、県、関係市町村(新庄市・舟形町・戸沢村・大蔵村)、警察、消防、地元水防団の方と毎年行っているもので、洪水時に適切な行動をとれるよう、確認の共有をはかりました。

## ? 重要水防箇所?

洪水が起こった際に堤防の安全性など、監視・巡視・水防活動において**特に注意が必要**な箇所のことです。重要水防箇所をあらかじめ決めておくことで、洪水が起こった際に効率的に点検を実施することができ、**危険箇所の早期発見**につながります。



# ボート巡視



6月7日、猿羽根大橋(尾花沢市)から草薙リバーポート(戸沢村)までをボートに乗り調査を行いました。通常の河川巡視は、パトロール車や徒歩で堤防からの巡視や点検を行いますが、このボート巡視では陸上からの巡視では発見しにくい川岸の崩落状況や施設の変状などをより近くから確認することができる重要な巡視のひとつになります。



今後も巡視を継続し、河川状況の監視に努めて参ります！

## 新庄河川事務所 最上南部流域治水出張所

〒996-0212  
最上郡大蔵村大字清水字堀川2346  
TEL: 0233-75-2204  
FAX: 0233-75-3023  
<http://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou>



## ↓ 新庄河川事務所ホームページ ↓



仕事内容や工事情報などを紹介しています。

## ↓ 新庄河川事務所Twitter ↓



防災やイベント、工事などの情報を発信するサイトです。